

産山村の教育

「We have a dream」 郷土に根ざした教育をめざして

産山村の教育がめざすもの

産山で教育を受けてよかったと実感できる教育の創造

- 1 子どもたちに確かな学力をつける。
- 2 郷土を知り、郷土を愛する子どもたちを育てる。
- 3 小・中学校の段差を低くして教育効果を上げる。
- 4 地域と学校が協力して、学校教育の充実を図る。

二学期制

小中一貫教育

学びの連続性・「じっくり」「しっかり」「のびのび」



中学校舎

小学校舎

産山村立産山小・中学校

- 平成16年度 県下に先駆け2学期制を導入
平成19年度 村内2小学校（産山北部小学校・山鹿小学校）が統合
産山小学校となり、校舎も中学校舎と併設される
平成19・20年度 構造改革特区（小中一貫教育特区）認定を受ける
平成21年度～ 文部科学省承認教育課程特例校として小中一貫教育を推進

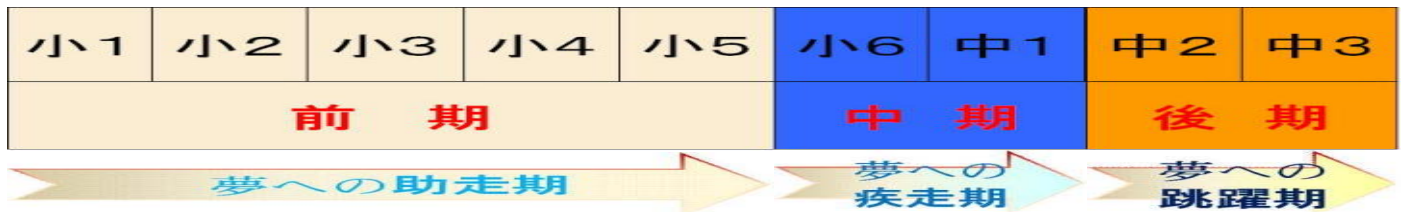
2学期制

学年始 休業日	4/8 ~ 7/20	夏季 休業日	8/26~10/5	秋季 休業日	10/12~12/22	冬季 休業日	1/8~3/25	学年末 休業日
	前 期				後 期			

- ① 長期休業日の効果的活用
 ア サポート教室
 イ 学校行事

- ② 評価活動の充実・・・教職員の意識改革
 ア 年2回の「通知票」と年4回の「学習の歩み」の配布
 イ 評価システム

小中一貫教育（5・2・2制）



特色ある教育課程

教育課程の編成（24年度）

	前 期					中 期		後 期		
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	中1	中2	中3	
英会話科	20	20	35	35	35	35	35	35	35	
英語科						35	140	140	140	
うぶやま学	34	35	35	35	70	35	35	35	35	
チャレンジ学習			35	35	35	35	35	35	35	



〈英会話科〉

小学校1年生から中学校3年生までの9年間を、教科として創設。



〈英語科〉

小学校6年生に「中学校」の英語科を先取りして、教科（週1時間）として位置づけ。

<うぶやま学> 地域との連携や地域人材の活用を通して、体験を重視した学習を展開し、子どもたちの心を豊かにするとともに、「産山」に誇りを持ち、将来の自己の生き方を考えていく学習



【田植え体験】



【子ども・ジュニアヘルパー活動】

<チャレンジ学習>

チャレンジ学習 通称「うぶチャレ」

国語(漢字)

算数・数学

△児童・生徒が自分で目標を設定
△複数の教員できめ細やかな指導

○基礎基本の定着

○学習意欲の喚起

○発展的学習

○個々の力を伸ばす

各種検定へチャレンジ



【チャレンジ学習～小中教員による複数指導体制】

小中連携システム



木工



体育

教科担任制



音楽



英語

複数指導体制

<英会話科>

<理科>



小学校担任、中学校英語担当、ALT



小学校理科専科、中学校理科教員

物的環境の共有・合同行事



校にプール、保健室、家庭科室、木工室、音楽室、ランチルーム

メディアセンター
(多目的館)



合同体育祭



合同就任式



広げ隊

ヒゴタイ交流



御所浦交流

伝え隊

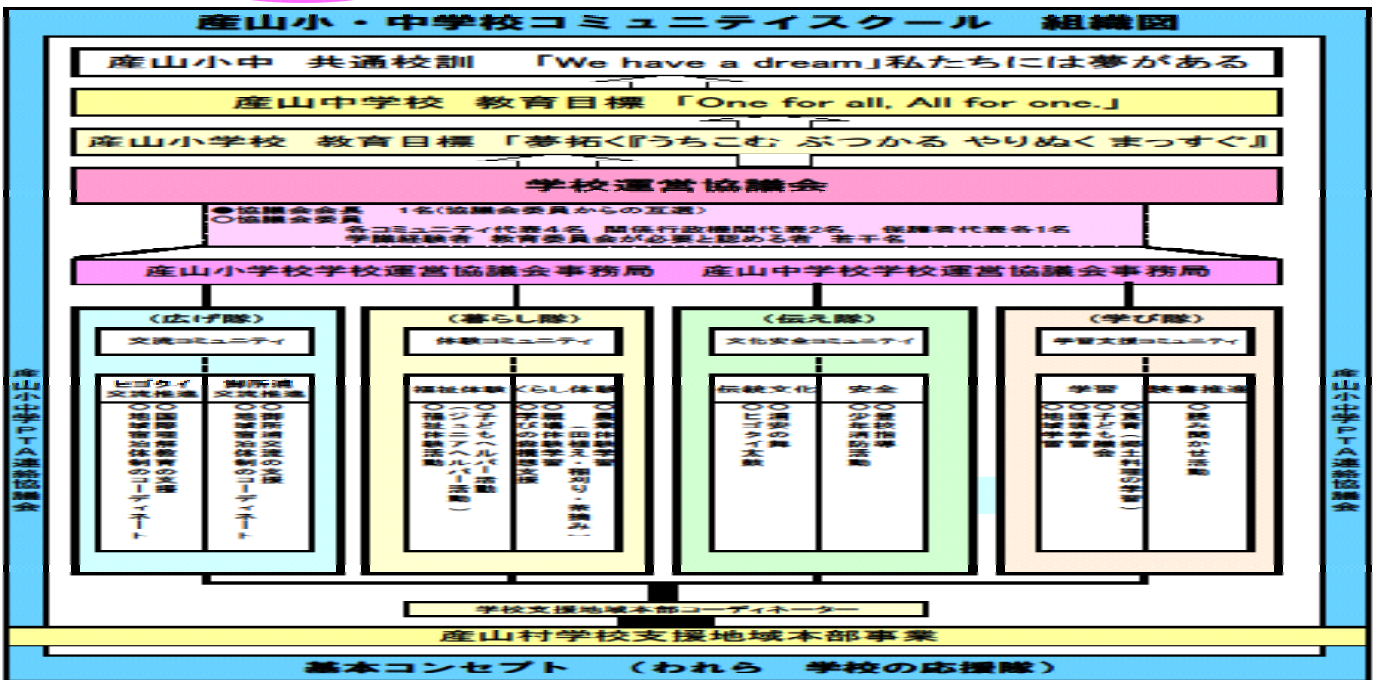
安全見守り



少年消防隊(中学生)



ヒゴタイ太鼓(中学生)



暮らし隊



田植え



中学校職場体験



子ども・ジュニアヘルパー活動

学び隊



郷土料理作り



放課後子ども教室



読み聞かせボランティア



ヒゴタイ音頭師範